

2025年日本国際博覧会 会場外駐車場 環境影響評価実施計画書の概要

1. 事業概要

- 事業の名称 : 2025年日本国際博覧会 会場外駐車場
- 事業の種類 : 駐車施設 (2,000 台以上) の設置
- 事業計画の位置 : 堺市堺区築港八幡町地内及び匠町地内 (下図参照)
- 事業の目的 : 2025年日本国際博覧会 (略称「大阪・関西万博」) では、会場となる夢洲 (大阪市) への一般の自家用車の乗り入れを原則禁止とし、会場から概ね 15km 圏内に設ける会場外駐車場でバスに乗り換えるパークアンドライド方式を採用することとしています。本事業は、会場外駐車場の予定地の一つとして、堺市堺区に駐車施設を設置することを目的としたものです。
- 開発区域面積 : 約 91,000 m²
- 駐車台数 : 約 2,300 台
- 供用予定期間 : 2025年4月から2025年10月まで

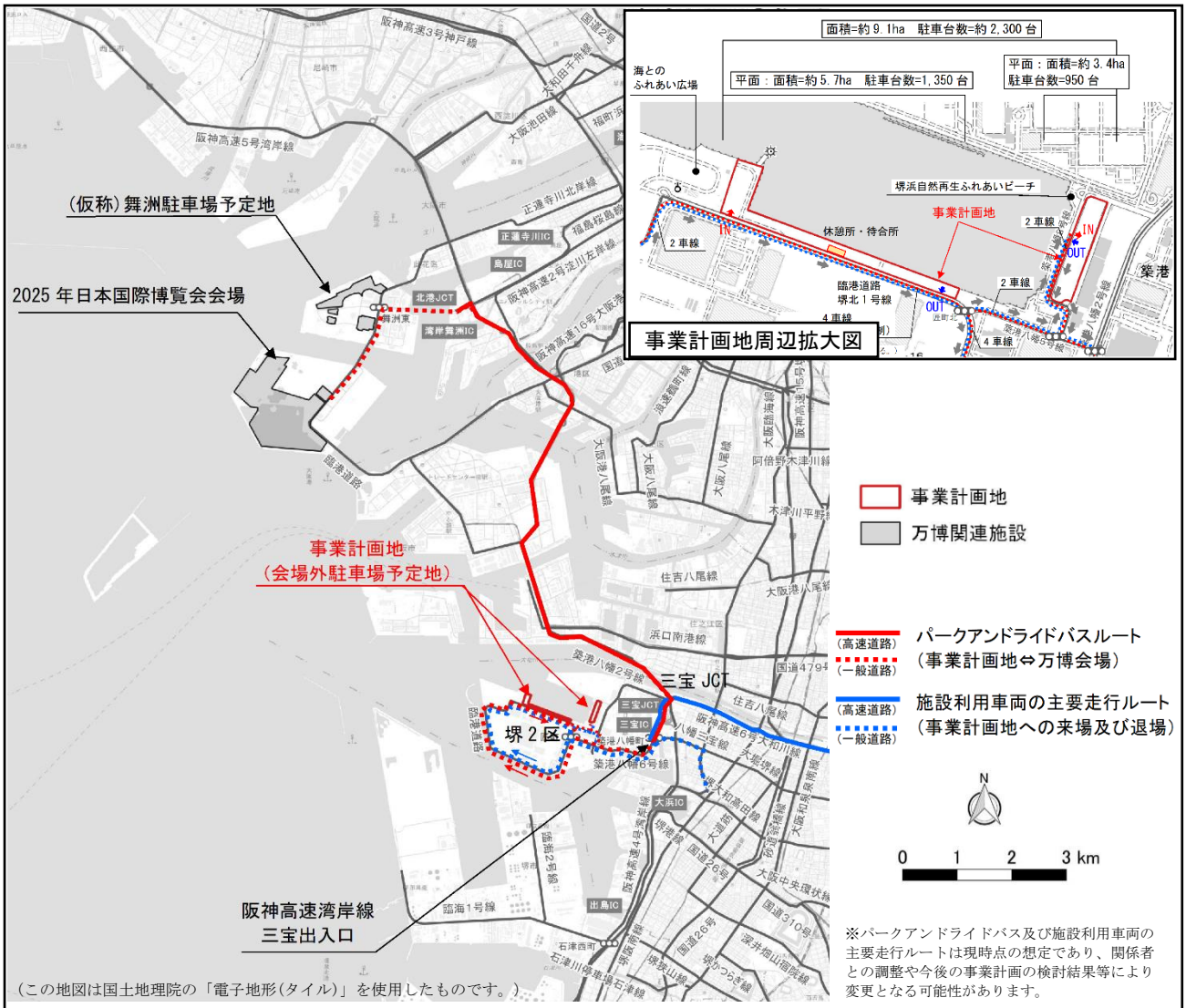


図1 事業計画地の位置図

2. 環境影響評価の項目

事業特性及び地域特性を勘案して抽出した環境影響要因より表 1 に示す環境影響評価項目を選定しました。

なお、配慮計画審査書に記載された意見を踏まえ、駐車場利用者の船舶による海上輸送（別途民間事業者が実施を検討中）に伴う環境影響要因についても検討し、環境影響評価項目（参考）として選定しました。

表 1 環境影響評価項目

環境要素		環境影響要因				
項目	細区分	工事の実施			施設の存在	施設の供用
		造成・解体等 施工の影響	工事用車両 の走行	建設機械 の稼働	施設の 存在	施設の供用 (施設利用車両 の走行等)
大気質	窒素酸化物		○	○		○
	浮遊粒子状物質		○	○		○
	二酸化硫黄					△
水質・底質		△				
騒音			○	○		○
振動			○	○		○
土壌汚染		○				
光害						○
陸域生態系	陸生生物			○	○	○
	陸域生態系			○	○	○
海域生態系	海生生物	△				
	海域生態系	△				
人と自然との触れ合い活動の場			○	○		○
地球環境	地球温暖化		○	○		○
廃棄物等	産業廃棄物	○				
	発生土	○				
安全	交通		○			○

○：環境影響評価項目として選定 △：環境影響評価項目（参考）として選定

3. 環境影響評価の調査・予測・評価の概要

抽出した環境影響評価項目（参考項目含む）について、既存資料の収集・整理・解析及び現地調査を実施し、事業計画地及びその周辺の現況を把握し、本事業による環境影響の予測・評価を行います。

表2 環境影響評価項目に係る調査、予測及び評価の手法(1/4)

環境影響評価項目		調査の手法	予測の手法	評価項目等
大気質	工事の実施	既存資料調査 ・「大気汚染常時監視測定結果」(堺市)等により測定データを収集。	[予測項目] 窒素酸化物、浮遊粒子状物質の年平均値 [予測方法] 大気拡散式(プルーム・パフモデル)による計算	[評価項目] 二酸化窒素の年平均値及び日平均値の年間98%値、浮遊粒子状物質の年平均値及び日平均値の2%除外値 [整合を図るべき基準等] ・大気の汚染に係る環境基準*
			[予測項目] 窒素酸化物、浮遊粒子状物質の1時間値 [予測方法] 大気拡散式(プルーム・パフモデル)による計算	[評価項目] 二酸化窒素、浮遊粒子状物質の1時間値 [整合を図るべき基準等] ・中央公害対策審議会答申による短期暴露の指針値 ・大気の汚染に係る環境基準*
			[予測項目] 窒素酸化物、浮遊粒子状物質の年平均値 [予測方法] 大気拡散式(プルーム・パフモデル)による計算	[評価項目] 二酸化窒素の年平均値及び日平均値の年間98%値、浮遊粒子状物質の年平均値及び日平均値の2%除外値 [整合を図るべき基準等] ・大気の汚染に係る環境基準*
	施設の供用	既存資料調査 ・「大気汚染常時監視測定結果」(堺市)等により測定データを収集。	[予測項目] 窒素酸化物、浮遊粒子状物質の年平均値 [予測方法] 大気拡散式(プルーム・パフモデル)による計算	[評価項目] 二酸化窒素の年平均値及び日平均値の年間98%値、浮遊粒子状物質の年平均値及び日平均値の2%除外値 [整合を図るべき基準等] ・大気の汚染に係る環境基準*
			[予測項目] 窒素酸化物、浮遊粒子状物質、二酸化硫黄の年平均値 [予測方法] 大気拡散式(プルーム・パフモデル)による計算	[評価項目] 二酸化窒素の年平均値及び日平均値の年間98%値、浮遊粒子状物質、二酸化硫黄の年平均値及び日平均値の2%除外値 [整合を図るべき基準等] ・大気の汚染に係る環境基準*
			[予測項目] 窒素酸化物、浮遊粒子状物質、二酸化硫黄の年平均値 [予測方法] 大気拡散式(プルーム・パフモデル)による計算	[評価項目] 二酸化窒素の年平均値及び日平均値の年間98%値、浮遊粒子状物質、二酸化硫黄の年平均値及び日平均値の2%除外値 [整合を図るべき基準等] ・大気の汚染に係る環境基準*
建設機械の稼働に係る排出ガス(長期予測)	既存資料調査 ・「大気汚染常時監視測定結果」(堺市)等により測定データを収集。	[予測項目] 窒素酸化物、浮遊粒子状物質の年平均値 [予測方法] 大気拡散式(プルーム・パフモデル)による計算	[評価項目] 二酸化窒素の年平均値及び日平均値の年間98%値、浮遊粒子状物質の年平均値及び日平均値の2%除外値 [整合を図るべき基準等] ・大気の汚染に係る環境基準*	
工事用車両の走行に係る排出ガス		[予測項目] 窒素酸化物、浮遊粒子状物質の1時間値 [予測方法] 大気拡散式(プルーム・パフモデル)による計算	[評価項目] 二酸化窒素、浮遊粒子状物質の1時間値 [整合を図るべき基準等] ・中央公害対策審議会答申による短期暴露の指針値 ・大気の汚染に係る環境基準*	
建設機械の稼働に係る排出ガス(短期予測)		[予測項目] 窒素酸化物、浮遊粒子状物質の年平均値 [予測方法] 大気拡散式(プルーム・パフモデル)による計算	[評価項目] 二酸化窒素の年平均値及び日平均値の年間98%値、浮遊粒子状物質の年平均値及び日平均値の2%除外値 [整合を図るべき基準等] ・大気の汚染に係る環境基準*	

※ 予測評価地点に対して、用途地域の関係等から環境基準又は要請限度等の基準が適用されない場合については、土地利用の動向等を勘案し、評価を行う。

表3 環境影響評価項目に係る調査、予測及び評価の手法(2/4)

環境影響評価項目		調査の手法	予測の手法	評価項目等	
水質・底質	工事の実施	造成・解体等施工に係る水質の影響	<p>既存資料調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 「大和川水系の定期水質調査結果」(国土交通省)、「公共用水域等水質調査結果」(堺市)等により、水質調査結果等を収集。 <p>現地調査<水質></p> <ul style="list-style-type: none"> 現地測定項目、生活環境項目、水生生物生息環境項目、その他、健康項目、ダイオキシン類の現地調査を行う。 <p>現地調査<底質></p> <ul style="list-style-type: none"> 現地測定項目、一般項目、健康項目、ダイオキシン類の現地調査を行う。 	<p>[予測項目]</p> <p>浮遊物質量(SS)、水素イオン濃度(pH)</p> <p>[予測方法]</p> <p>現地調査結果及び対象事業の工事計画の内容等を勘案して推定</p>	<p>[評価項目]</p> <p>浮遊物質量(SS)、水素イオン濃度(pH)</p> <p>[整合を図るべき基準等]</p> <ul style="list-style-type: none"> (公社)日本水産資源保護協会「水産用水基準(2018年版)」による海域の水産用水基準
騒音	工事の実施	建設機械の稼働に係る騒音	<p>既存資料調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅地図等から保全対象施設を調査。 「騒音調査結果」(堺市)等より測定データを収集。 <p>現地調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路交通騒音、環境騒音、交通量、車速の現地調査を行う。 	<p>[予測項目]</p> <p>騒音レベルの90%レンジの上端値</p> <p>[予測方法]</p> <p>日本音響学会の「音の伝搬理論に基づく予測式」による計算</p>	<p>[評価項目]</p> <p>騒音レベルの90%レンジの上端値</p> <p>[整合を図るべき基準等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 騒音規制法に定められた特定建設作業に伴う騒音の規制基準*
		工事用車両の走行に係る騒音	<p>[予測項目]</p> <p>等価騒音レベル</p> <p>[予測方法]</p> <p>日本音響学会の道路交通騒音の予測モデルによる計算</p>	<p>[評価項目]</p> <p>等価騒音レベル</p> <p>[整合を図るべき基準等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 騒音に係る環境基準* 	
	施設の供用	施設利用車両の走行に係る騒音			
		施設利用車両の場内走行に係る騒音			
振動	工事の実施	建設機械の稼働に係る振動	<p>既存資料調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅地図等から保全対象施設を調査。 <p>現地調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路交通振動、環境振動、地盤卓越振動数の現地調査を行う。 	<p>[予測項目]</p> <p>振動レベルの80%レンジの上端値</p> <p>[予測方法]</p> <p>建設作業振動の解析による予測式を用いて計算</p>	<p>[評価項目]</p> <p>振動レベルの80%レンジの上端値</p> <p>[整合を図るべき基準等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 振動規制法に定められた特定建設作業に伴う振動の規制基準*
		工事用車両の走行に係る振動	<p>[予測項目]</p> <p>振動レベルの80%レンジの上端値</p> <p>[予測方法]</p> <p>土木研究所の「振動レベル八十パーセントレンジの上端値を予測するための式」による計算</p>	<p>[評価項目]</p> <p>振動レベルの80%レンジの上端値</p> <p>[整合を図るべき基準等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 振動規制法に定められた道路交通振動の要請限度* 	
	施設の供用	施設利用車両の走行に係る振動			
		施設利用車両の場内走行に係る振動			

※ 予測評価地点に対して、用途地域の関係等から環境基準又は要請限度等の基準が適用されない場合については、土地利用の動向等を勘案し、評価を行う。

表 4 環境影響評価項目に係る調査、予測及び評価の手法 (3/4)

環境影響評価項目		調査の手法	予測の手法	評価項目等		
土壌汚染	工事の実施	造成・解体等施工に係る影響	<p>既存資料調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「土壌汚染の範囲および土壌汚染状況等を記載した台帳」（堺市）等により事業計画地周辺の土壌汚染状況を調査。 	<p>[予測項目]</p> <p>特定有害物質等の状況</p> <p>[予測方法]</p> <p>既存資料調査結果及び対象事業の工事計画の内容等を勘案し推定</p>	<p>[評価項目]</p> <p>特定有害物質の状況</p>	
	光害	施設の供用に係る影響	<p>既存資料調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅地等から保全対象施設の分布状況を把握。 <p>現地調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明環境の状況の現地調査を行う。 	<p>[予測項目]</p> <p>周辺施設への照明施設の漏れ光</p> <p>[予測方法]</p> <p>照明配置等の事業計画に基づく定性予測</p>	<p>[評価項目]</p> <p>周辺施設への照明施設の漏れ光</p>	
陸域生態系	工事の実施	建設機械の稼働に係る影響	<p>既存資料調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然環境保全基礎調査」（環境省）等より生態系の状況を把握。 <p>現地調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類、昆虫類等（クモ類含む）、植物相、植生の現地調査を行う。 	<p>[予測項目]</p> <p>陸生生物、陸域生態系</p> <p>[予測方法]</p> <p>現地調査結果及び対象事業の工事計画の内容を勘案した定性予測</p>	<p>[評価項目]</p> <p>陸生生物、陸域生態系</p>	
		施設の存在に係る影響				<p>[予測項目]</p> <p>陸生生物、陸域生態系</p> <p>[予測方法]</p> <p>現地調査結果及び対象事業の事業計画の内容を勘案した定性予測</p>
		施設の供用に係る影響				
海域生態系	工事の実施	造成・解体等施工に係る影響	<p>既存資料調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「干潟環境現況調査結果抜粋」（大阪府）、「生物共生型護岸モニタリング調査結果（国土交通省）」等より生態系の状況を把握。 <p>現地調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物プランクトン、魚卵・稚仔魚、底生生物、漁業生物、付着生物（動物）、植物プランクトン、付着生物（植物）の現地調査を行う。 	<p>[予測項目]</p> <p>海生生物、海域生態系</p> <p>[予測方法]</p> <p>現地調査結果及び対象事業の工事計画の内容を勘案した定性予測</p>	<p>[評価項目]</p> <p>海生生物、海域生態系</p>	

表5 環境影響評価項目に係る調査、予測及び評価の手法(4/4)

環境影響評価項目		調査の手法	予測の手法	評価項目等	
人と自然との触れ合い活動の場	工事の実施	建設機械の稼働に係る影響	<p>既存資料調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 堺市ホームページ(e-地図帳)等から、事業計画地周辺の人と自然との触れ合い活動の場の分布状況を把握。 <p>現地調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 人と自然との触れ合い活動の場の利用状況の現地調査を行う。 	<p>[評価項目]</p> <p>利用環境の変化の程度</p>	
	工事の実施	工事用車両の走行に係る影響			<p>[予測項目]</p> <p>利用環境の変化の程度</p> <p>[予測方法]</p> <p>現在の利用状況及び対象事業の工事計画の内容を勘案した定性予測</p>
	施設の供用	施設利用車両の走行に係る影響			<p>[予測項目]</p> <p>利用環境の変化の程度</p> <p>[予測方法]</p> <p>現在の利用状況及び施設利用車両の走行ルートをもとに勘案した定性予測</p>
地球環境	工事の実施	建設機械の稼働に係る二酸化炭素	<p>—</p>	<p>[評価項目]</p> <p>二酸化炭素排出量</p>	
	工事の実施	工事用車両の走行に係る二酸化炭素			<p>[予測項目]</p> <p>二酸化炭素排出量</p> <p>[予測方法]</p> <p>対象事業の工事計画の内容、及び排出抑制対策等の状況を勘案した原単位による算出</p>
施設の供用	施設利用車両の走行等に係る二酸化炭素	<p>[予測項目]</p> <p>二酸化炭素排出量</p> <p>[予測方法]</p> <p>対象事業の事業計画の内容、及び排出抑制対策等の状況を勘案した原単位による算出</p>			
廃棄物等	工事の実施	造成・解体等施工に係る廃棄物	<p>既存資料調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 「堺の環境」(堺市)等により、廃棄物の処理状況を調査。 	<p>[評価項目]</p> <p>廃棄物、発生土の種類及び発生量等</p>	
安全(交通)	工事の実施	工事用車両の走行に係る交通安全への影響	<p>既存資料調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 「全国道路・街路交通情勢調査」(大阪府)等により、交通の状況を調査。 	<p>[評価項目]</p> <p>交通安全への影響の程度</p>	
	施設の供用	施設利用車両の走行に係る交通安全への影響	<p>現地調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設の設置状況の現地調査を行う。 		<p>[予測項目]</p> <p>交通安全への影響の程度</p> <p>[予測方法]</p> <p>施設利用車両による交通量の増加、交通安全施設等の状況を勘案した定性予測</p>